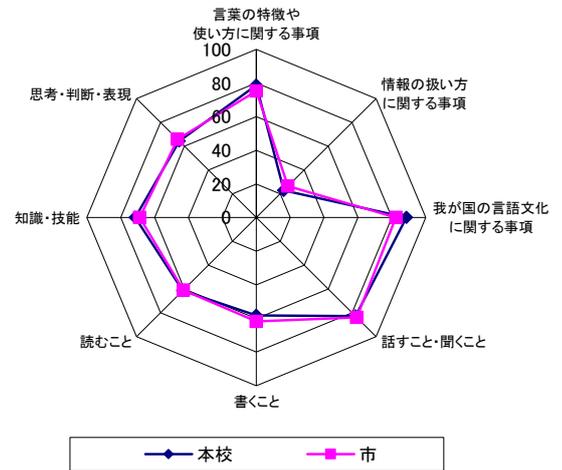


# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【国語】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	言葉の特徴や使い方に関する事項	78.7	75.3	77.1
	情報の扱い方に関する事項	22.9	26.5	27.8
	我が国の言語文化に関する事項	88.6	82.4	81.0
	話すこと・聞くこと	82.9	83.9	84.2
	書くこと	58.1	61.7	64.5
	読むこと	61.4	60.9	61.0
観点別	知識・技能	71.4	68.8	70.3
	思考・判断・表現	64.4	65.8	67.0

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

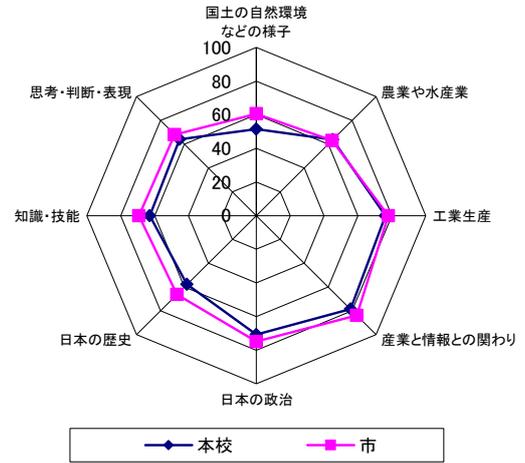
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を上回っている。</li> <li>○漢字について、読み、書きともに市の平均を上回っている。</li> <li>●敬語についての問題の正答率が45.7%で、市の平均を6.3ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの</li> <li>●課題が見られるもの</li> <li>・時と場、相手に合わせた話し方ができるよう日常生活の中で繰り返し指導をしていく。</li> <li>・漢字オリンピックを開催して意欲付けを図り、宿題や朝の学習で練習するなど学校全体で取り組んだ成果が表れてきていると考えられる。今後も、児童の意欲を喚起しながら、漢字練習を行わせていく。</li> </ul>
情報の扱い方に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回っている。</li> <li>●情報と情報との関係について理解し、文章の情報を整理したり、文章を簡単にまとめたりする問題の正答率が、他領域より著しく低く、文章から情報を読み取ることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの</li> <li>●課題が見られるもの</li> <li>・国語だけに限らず、社会や総合的な学習の時間などで、資料から分かることを文章でまとめる学習を繰り返す。</li> </ul>
我が国の言語文化に関する事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を上回っている。</li> <li>○和語、漢語、外来語についての問題の正答率が88.6%で、市の平均を6.2ポイント上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの</li> <li>●課題が見られるもの</li> <li>・今後も、漢字練習や自主学習などで、漢字を書くだけでなく、漢字の由来や成り立ちなどに触れるようにする。</li> </ul>
話すこと・聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均をやや下回っている。</li> <li>●インタビューの内容を聞き取り、話の内容を捉える問題の平均正答率は77.1%で、市の平均を1.8ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの</li> <li>●課題が見られるもの</li> <li>・本校の取組である「ことばタイム」の活動をさらに充実させ、話し手の意図を捉えて聞き取る経験を積んでいく。</li> </ul>
書くこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回っている。</li> <li>○目的や意図に応じて、書き表し方を工夫したものを選ぶ問題の平均正答率は80%で、市の平均を7.5ポイント上回っている。</li> <li>●指定された長さで文章を書く問題の平均正答率は57.1%で、市の平均を10.4ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの</li> <li>●課題が見られるもの</li> <li>・日常生活の中で、授業の振り返りや短作文など書く活動を多く取り入れ、キーワードを入れたり字数制限を設けたりして条件に合う文章を書けるよう、繰り返し指導していく。</li> </ul>
読むこと	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均をやや上回っている。</li> <li>○物語の内容を読み取り、登場人物の心情を描写を基に捉える問題は正答率が高かった。</li> <li>●説明文の内容を読み取り、情報と情報の関係を理解し、文章の情報を整理して書き込む問題の平均正答率は11.4%で市の平均より5.8ポイント下回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの</li> <li>●課題が見られるもの</li> <li>・説明文では、文章の構成を考え、要旨を確実に捉えられるよう指導していく。</li> <li>・日々の読書を奨励したり、図書館司書と連携した読書活動を取り入れたりと、より充実した読書体験をさせることで、読解力を高めていけるようにする。</li> </ul>

# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

領域別	観点別	本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	51.4	60.5	65.8
	農業や水産業	63.8	63.3	66.0
	工業生産	76.2	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	78.6	83.8	76.6
	日本の政治	70.7	74.9	74.1
観点別	日本の歴史	57.9	66.3	68.3
	知識・技能	62.9	69.3	71.4
	思考・判断・表現	64.1	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

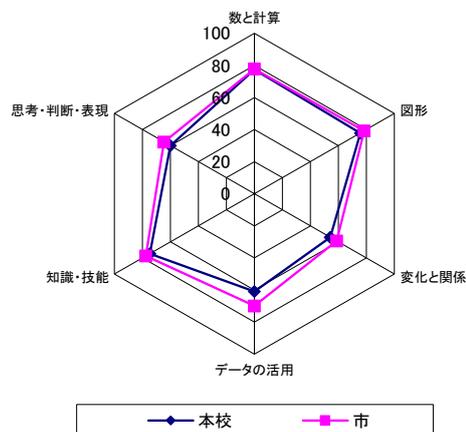
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は市の平均を下回っている。</li> <li>●日本周辺の海洋名を問う設問の正答率は60.0%で、市の平均を14.3ポイント下回った。</li> <li>●森林を守るための間伐についての設問の正答率は65.7%、公害について問う設問は14.3%と、市の平均を10ポイント近く下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</li> <li>・授業の中で、地図を活用して、国や大陸、海洋の位置について視覚的に学習する機会をつくる。</li> <li>・「間伐」や「公害」のような、学習した重要な語句を、自分の言葉で説明する活動を取り入れ、知識の定着を図る。</li> </ul>
農業や水産業	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は市の平均を上回っている。</li> <li>○食料自給率についての設問の正答率は42.9%で、市の平均を6.6ポイント上回った。</li> <li>○輸入などによる外国との関わりにおける課題についての設問の正答率は71.4%で、市の平均を4.2ポイント上回った。</li> <li>●米の品質についての設問の正答率は77.1%で、市の平均を9.3ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや地図などの様々な資料を活用し、資料の読み取りに慣れさせる練習を繰り返し行う。</li> <li>・問題文をよく読み、資料から分かる必要な情報を確実に読み取る習慣を身に付けさせ、習得できるようにする。</li> </ul>
工業生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は市の平均を下回っている。</li> <li>○自動車工場の作業工程について資料と文章を結び付けて考える設問の正答率は94.3%で、市の平均を4.1ポイント上回った。</li> <li>●自動車の再利用について考える設問の正答率は85.7%で、市の平均を1.2ポイント下回った。</li> <li>●日本の輸出品や輸入品に関する問題の正答率は48.6%で、市の平均を7.9ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラフや地図、写真などの資料から必要な情報を読み取る方法について繰り返し指導する。</li> <li>・資料から読み取ったことについて考え、様々な形で文章化する機会を設定する。</li> </ul>
産業と情報との関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は市の平均を下回った。</li> <li>●情報の発信と受信の注意点について考える設問の正答率は88.6%で、市の平均を4.3ポイント下回った。</li> <li>●産業における情報活用の設問の正答率は68.6%で、市の平均を6.2ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常生活における情報化社会に目を向けさせ、それらの適切な利用法について指導する。</li> <li>・テレビや新聞のニュースなどの現在の社会事情などに関心をもたせるようにする。</li> </ul>
日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回っている。</li> <li>○租税の役割について資料を読み取る設問の正答率は77.1%で、市の平均を5.6ポイント上回った。</li> <li>●基本的な人権の尊重の基本的な考え方について、正しいものを選ぶ設問の正答率は68.6%で、市の平均を12.7ポイント下回った。誤答と無回答の割合が25.7%と高く、三つの原則の内容について、正しく理解できていないと考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集や教科書以外の映像資料も活用し、世の中のことに関心をもった上で正確に理解できるようにする。</li> <li>・日本国憲法の三つの原則について、言葉だけでなく内容も正しく理解できるよう指導する。</li> </ul>
日本の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回っている。</li> <li>●御家人についての正しい説明を選ぶ設問の正答率は54.3%で、市の平均を18.1ポイント下回った。</li> <li>●大和朝廷による統一について、正しい言葉の組み合わせを選ぶ設問の正答率は51.4%で、市の平均を11.2ポイント下回った。古墳の数のみに注目している誤答が34.3%と多く、資料全体を正しく読み取ることに課題が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の情報を正しく読み取る習慣を身に付けられるようにする。</li> <li>・年表を活用し、歴史的な背景や前後の出来事を確認しながら、それぞれの時代の様子について理解できるようにする。</li> </ul>

# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	77.4	77.7	78.6
	図形	75.7	78.4	74.4
	変化と関係	54.3	58.7	53.0
	データの活用	61.0	69.9	57.2
観点別	知識・技能	74.7	77.5	74.0
	思考・判断・表現	60.0	64.5	58.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

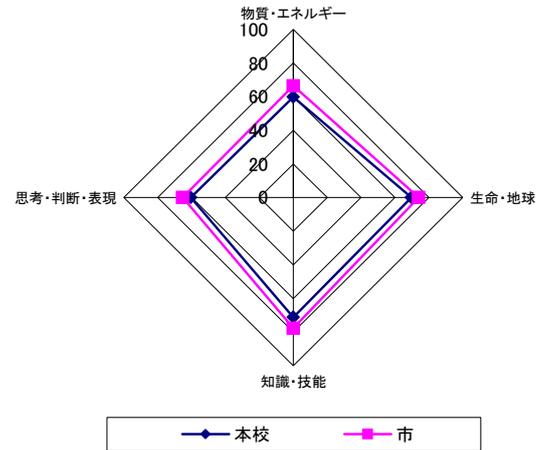
領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均と同程度である。</li> <li>○小数の乗法の文章問題を表した図の構造をとらえる設問の正答率は94.3%で、市の平均を10.5ポイント上回った。</li> <li>●比較量、基準量が分数の場合において、比較量が基準量の何倍になるかを求める式を選ぶ設問の正答率は57.1%で、市の平均を4.9ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基本的な計算技能の習得が図れるよう、目標を明確にして計算練習に取り組めるようにする。</li> <li>割合についての理解を図るために、問題場面における基準量、比較量を捉えられるように指導する。また、数量の関係を図で表して考えられるよう、各学年の授業で、図で表したり読み取ったりする活動を積極的に取り入れる。</li> </ul>
図形	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回っている。</li> <li>○正方形の紙を二つ折りにし、切った後、開いてできる模様について理解する設問の正答率は97.1%で、市の平均を6.8ポイント上回った。</li> <li>●ひし形の面積を求める式を理解する設問の正答率は54.3%で、市の平均を21.5ポイント下回った。</li> <li>●図に示された四角形の内角の和の求め方を説明する設問の正答率は22.9%で、市の平均を14.9ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年で図形の性質を捉える場面を丁寧に扱っていく。また、公式の定着を図るとともに、公式を作っていく活動では、多様な考えに触れ、比較統合していくことで図形を的確に捉える力を育てていく。</li> <li>授業の学び合う場面では、式から考えを読み取ったり、考えを聞いて立式したりする活動を取り入れていく。また、自分の考えをキーワードを使って説明する活動を積極的に設定する。</li> </ul>
変化と関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回っている。</li> <li>○百分率を理解し、割引後の値段を求める設問の正答率は77.1%で、市の平均を10.2ポイント上回った。</li> <li>●表から面積と人数の割合を求め、混み具合を考察する設問の正答率は48.6%で、市の平均を6.3ポイント下回った。</li> <li>●速さの単位関係を理解し、分速を秒速や時速に直す設問の正答率は37.1%で、市の平均を17.2ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>混み具合や速さなどの単位量あたりの大きさを求める問題では、何をもとにして何を比べるのか、数直線に表して立式できるように指導していく。「単位量当たりの数」「割合」「速さ」などの復習を積極的に行うことで、問われていることについての読み取りにも慣れるようにしていく。</li> <li>速さの単位の変換では、単位変換の仕組みや変換した数何を表すかについて理解できるようにする。</li> </ul>
データの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均正答率は、市の平均を下回っている。</li> <li>○表の値から平均を求める設問の正答率は88.6%で、市の平均を2.8ポイント上回った。</li> <li>○度数分布表を完成させる設問の正答率は80.0%で、市の平均を2.7ポイント上回った。</li> <li>●平均から全体の量を推測する設問の正答率は25.7%で、市の平均を24.8ポイント下回った。</li> <li>●ドットプロットから、最頻値と中央値を読み取る設問の正答率は57.1%で、市の平均を13.8ポイント下回った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表の中の数値がどんな意味をもつのか、問題文から読み取れることを整理したり、書き込んだりして理解が深められるように引き続き指導する。</li> <li>算数だけでなく理科や社会科などの他教科でも、資料を見比べ、関連付けて考える活動を積極的に取り入れていく。また、表やグラフに表したり読みだしたりしたことから、自分の考えをもつ場面を大切にしていく。</li> </ul>

# 宇都宮市立田原西小学校 第6学年【理科】領域別／観点別正答率

## ★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	物質・エネルギー	59.8	66.5	66.3
	生命・地球	69.7	74.0	72.6
観点別	知識・技能	71.2	77.6	78.2
	思考・判断・表現	60.5	65.3	63.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



## ★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>平均正答率は、市の平均を下回っている。</p> <p>○物の燃え方の実験結果について検討し、改善する設問の正答率は88.6%で、市の平均を17.7ポイント上回っている。</p> <p>●実験結果から、水溶液の種類を特定する設問の正答率は48.6%で、市の平均を18.8ポイント下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・興味関心が高い内容に対しては正答率が高くなっている。導入を工夫して行い、興味をもって単元に取り組むことができるように、展開を工夫する。</li> <li>・温度や時間、量など、条件を揃えて実験を進めて結果が得られるよう、教材研究、及び事前の指導を丁寧に行う。</li> <li>・観察・実験を行った際に、結果を図や表にまとめる活動を多く取り入れることで、図や表の描き方や読み取り方への理解を深められるようにする。</li> </ul>
生命・地球	<p>平均正答率は、市の平均を下回っている。</p> <p>○生物が環境に与える影響を指摘する設問の正答率は60.0%で、市の平均を6.2ポイント上回っている。</p> <p>●消化についての設問の正答率は45.7%で、市の平均を15.1ポイント下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目に見えない事象に対しての正答率が低くなっている。図に示すなどして、視覚的に理解を促す。</li> <li>・自分の考えを書く設問の誤答の割合が高くなっている。記述して解答する機会を多く設けたり、書き出しの言葉や定型文を示したりしながら、問いに応じた解答に慣れさせるようにする。</li> </ul>